

Alibaba Cloud E-MapReduce

エラーとトラブルシューティング

Document Version 20190529

目次

1 付録.....	1
1.1 クラスター管理ページ.....	1
1.2 EMR バージョンに関する注意.....	2
1.3 エラーコード一覧.....	3
1.4 ステータス一覧.....	4

1 付録

1.1 クラスター管理ページ

Ubuntu システムを実行する 1 つの vCPU 2 GB ECS インスタンスを購入し、そのインスタンスを VPC ネットワークにデプロイできます。このインスタンスを管理クライアントとして使用して、管理ページにアクセスできます。

以下の表に、クラスター内のサービスのエンドポイントの一覧を示します。

ソフトウェア	サービス	エンドポイント
Hadoop		
	yarn resourcemanager	k masternode1_private_ip:8088,masternode2_private_ip:8088
	jobhistory	masternode1_private_ip:19888
	timeline server	masternode1_private_ip:8188
	hdfs	masternode1_private_ip:50070,masternode2_private_ip:50070
spark		
	spark ui	masternode1_private_ip:4040
	history	masternode1_private_ip:18080
tez		
	tez-ui	masternode1_private_ip:8090/tez-ui2
hue		
	hue	masternode1_private_ip:8888
zeppelin		

ソフトウェア	サービス	エンドポイント
	zeppelin	masternode1_private_ip: 8080
hbase		
	hbase	masternode1_private_ip: 16010
presto		
	presto	masternode1_private_ip: 9090
oozie		
	oozie	masternode1_private_ip: 11000
ganglia		
	ganglia	masternode1_private_ip: 8085/ganglia

1.2 EMR バージョンに関する注意

- ・ EMR は定期的に更新されます。
- ・ 各 EMR バージョン内にインストールされているソフトウェアのバージョンは固定されています。現在、EMR はソフトウェアの異なるバージョンの選択をサポートしていません。手動でソフトウェアのバージョンを変更しないよう推奨します。たとえば、Hadoop 3.6.0 と Spark 1.4.1 は EMR V1.0 にインストールされています。
- ・ 何かバージョンを選択してクラスターを作成した場合、そのクラスターが使用するバージョンは自動では更新されません。V1.0 を選択しても、Hadoop は V2.6.0 のまま、Spark は V1.4.1 のままです。EMR が V1.1 に更新されれば、Hadoop は V2.7.0 に更新され、Spark は V1.5.0 に更新されます。これらの更新は、作成したクラスターには反映されません。新しいミラーリングのイメージを使用するのは新しいクラスターだけです。
- ・ たとえば、クラスターのバージョンを V1.0 から V1.1 に更新する場合は、ニュースソフトウェア環境でジョブをテストして、それらが正常に実行されるかどうかを確認し、非互換性やソフトウェア環境の変更による例外を回避します。

1.3 エラーコード一覧

一般的なエラーコードは以下のとおりです。

エラーコード	エラーメッセージ
4001	リクエストパラメーターが無効な場合、たとえば、パラメーターが見つからない、またはパラメーターの形式が無効な場合に返されるエラーメッセージです。
4005	他のユーザーのリソースにアクセスする権限が付与されていない場合に返されるエラーメッセージです。
4006	クラスターのステータスが異常状態で、ジョブをサブミットできない場合に返されるエラーメッセージです。実行プランに関連付けられているクラスターが解放されているかどうかを確認します。
4007	セキュリティグループの名前が空の場合に返されるエラーメッセージです。
4009	アカウントに支払いが延滞しているか一時的に停止している場合に返されるエラーメッセージです。アカウントの状況をご確認ください。
4011	クラスターのステータスが異常状態で、スケジューリングできない場合に返されるエラーメッセージです。実行プランに関連付けられているクラスターが解放されているかどうか確認します。
5012	作成できるセキュリティグループの数が上限を超えたときに返されるエラーメッセージです。 セキュリティグループのページ に移動して使用されていないセキュリティグループを削除します。
5038	ジョブが実行中または保留中の実行プランのジョブで、変更できない場合に返されるエラーメッセージです。関連する実行プランが正常に実行された後にのみ、ジョブを変更できます。ジョブをクローン作成し、クローン作成したジョブを変更して使用することができます。

エラーコード	エラーメッセージ
5039	クラスターロールのロックに失敗したときに返されるエラーメッセージです。EMRを使用するには特定の権限が必要です。 ロール認証 は、 ここをクリックしてクラスターロールを作成します 。
5050	データベースへのアクセス時に返されるエラーメッセージです。しばらくしてからもう一度お試しください。
6002	クラスターの更新に失敗すると返されるエラーメッセージです。
8002	指定した操作を実行する権限が付与されていない場合に返されるエラーメッセージです。 RAM をクリックして認可を適用します。
8003	PassRole 操作を実行する権限が付与されていない場合に返されるエラーメッセージです。 RAM をクリックして認可を申請します。
9006	クラスターの ID が存在しない場合に返されるエラーメッセージです。ID を検証する必要があります。
9007	マスターノードへのログオンに使用されたパスワードが無効な場合に返されるエラーメッセージです。パスワードの長さは 8 ~ 30 文字で、大文字、小文字、および数字を含めることができます。

ECS 関連のエラー

エラーメッセージ	説明
指定された InstanceType の使用は許可されていません。	クラスターの作成に使用される指定されたタイプのインスタンスには適用していません。ECS 購入ページで 高構成インスタンスに適用 できます。
利用可能なゾーンまたはクラスターリソースがありません。	このゾーンでは ECS リソースを利用できません。

1.4 ステータス一覧

クラスターステータス一覧



注:

クラスターの状態は、クラスター一覧またはクラスターの詳細ページで閲覧できます。

ステータス	ステータスコード	説明
作成中	CREATING	クラスターは作成中です。作成タスクには、物理 ECS マシンの作成と Spark クラスターの有効化の 2 つの段階があります。クラスターが起動し始めるまで少し時間がかかります。
失敗	CREATE_FAILED	作成中に例外が発生しました。作成した ECS インスタンスは自動でロールバックします。クラスター一覧ページのステータスの右側のクエスチョンマーク (?) をクリックすると、例外の詳細を閲覧できます。
実行中	RUNNING	コンピューティングクラスターは実行中です。
待機	IDLE	クラスターは実行プランを実行していません。
リリース中	RELEASING	クラスターをこのステータスに設定するには、ステータス一覧で [解放] をクリックします。このステータスは、クラスターが解放処理中であることを示しています。このプロセスの完了には時間がかかる場合があります。

ステータス	ステータスコード	説明
リリース失敗	RELEASE_FAILED	クラスターの解放時に例外が発生しました。例外の詳細は、クラスター一覧ページのステータスの右側のクエスチョンマーク (?) をクリックすれば閲覧できます。クラスターがこのステータスになったら、[解放] をクリックしてクラスターを再度解放します。
解放済み	RELEASED	コンピューティングクラスターおよびそのコンピューティングクラスターをホスティングする ECS インスタンスが解放されました。
異常	ABNORMAL	コンピューティングクラスター内の 1 つ以上のノードで回復不能なエラーが発生しました。[解放] をクリックしてクラスターを解放します。

ジョブステータス一覧



注:

ジョブステータス一覧でジョブステータスを閲覧

ステータス	説明
準備完了	作成情報は完全で正しく、正常に保存されました。ジョブはサブミッションキューに追加される準備ができています。ジョブのステータスが [サブミット中] に変わるまで時間がかかることがあります。
サブミット中	ジョブはコンピューティングクラスターのサブミッションキューにあります。コンピューティングクラスターにサブミットされていません。
失敗	ジョブをコンピューティングクラスターにサブミット中に例外が発生しました。このジョブを再度サブミットする場合は、クローン作成してからサブミットする必要があります。

ステータス	説明
実行中	ジョブはクラスター内で実行中です。少し待ってからジョブ一覧の対応するログボタンをクリックして、出力ログエントリをリアルタイムで閲覧します。
成功	ジョブはクラスター内で正常に実行されました。ログエントリを閲覧するには、対応するログボタンをクリックします。
失敗	ジョブの実行中に例外が発生しました。ログエントリを閲覧するには、対応するログボタンをクリックします。